

兵庫県社保協 FAXニュース

2020年6月23日

兵庫県社会保障推進協議会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7
兵庫民医連内
電話 078(303)7351 / FAX 078(303)7353
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

兵庫県社会保障推進協議会 第49期 定期総会

日時: 6月27日(土) 14時~16時
会場: 神戸市勤労会館 308号室
議事: 活動報告と活動方針案、決算予算、役員改選、
討論: コロナ対策の現状など県政報告
(日本共産党県議会議員団)

「コロナで仕事が減った。社会保険で引かれる方が多い」

コロナ災害を乗り越える いのちと暮らしを守る何でも相談会

コロナ災害を乗り越えるいのちと暮らしを守るなんでも電話相談会が6日、全国一斉に取り組みされました。各都道府県で実行委員会を作り実施が呼びかけられたもので、統一のフリーダイヤルから法律、労働、生活など、専門の相談員が対応しました。兵庫県実行委員会では、民医連、保険医協会、社保協、兵庫労連、兵商連、自由法曹団、生健会、革新懇より33人の相談員体制で対応。20件(兵庫4件、大阪12件、京都1件、滋賀1件、三重2件)の相談が寄せられました。

相談内容は、特別給付金(一人10万円)の給付手続きについて、フリーランスの持続化給付金についてなど、政府が出した救済制度への疑問や要望をはじめ、生活費、債務、労働、家庭の問題などです。

警備会社勤務男性(60代)から、「10年近く元旦しか休んでなかったが、コロナで週末のみの勤務になった。社会保険、介護保険など引かれる方が多い」。

息子が会社から退職が迫られているという女性(50代)。「4年勤めたが業務が無いと言われた」。

入院している母親(90代)について、「コロナの関係で面会拒否されている。合えずに亡くなるかもしれない」と涙声で話す女性(70代)など、切実で不満と混乱が入り混じる相談が多数ありました。

同電話相談は、47都道府県の97会場で実施され、700人を超える相談員が協力しました。相談件数は全国で1,100件を超えました。電話相談中にとったアンケートで「国の施策を評価しますか」に対し、「全く評価しない・評価しない」は62.6%あり「評価する・高く評価する」の12.2%を大きく上回りました。

次回8月8日(土)に2回目の電話相談を計画しています。



(事務局 堤匠)